

東ひろしまの遺跡

Vol.12

国重要文化財（美術工芸品：考古資料） へ指定されることが答申されました！

ひろしまけん あき こくぶん じ あと ど こうしゆつ ど ひん
～～広島県安芸国分寺跡土坑出土品～～

令和4年11月18日に開かれた文化審議会において、「広島県安芸国分寺跡土坑出土品」が国の重要文化財（美術工芸品：考古資料）に指定される答申がされました。今後、官報告示されて「指定」となります。

この土坑（SK451）は当時のゴミ捨て穴と考えられ、多量の木製品や土器などがまとまって出土しました。

この土器の形や出土状況から、8世紀第3四半期という時期に限定されることがわかります。

中でも、「安居」「^{あんご}斎会」等の仏教行事が^{ぼくしよ}墨書された須恵器、天平勝寶2（750）年の年号、「^{さへきぐん}佐伯郡」「^{やまがたぐん}山県郡」等の安芸国内の郡名や品物の名前が書かれた木簡、角筆の可能性のある木製品などが注目されます。

これらは国分寺建立の^{みことのり}詔から9年後には、安芸国分寺で仏教行事を執り行っていたことを示すとともに、その内容を具体的に示す資料として、また国分寺の創建時期を考える上でも、極めて学術的価値が高い資料です。



写真1 土坑（SK451）出土品の一部

四日市遺跡の発掘調査を継続中

よっ か いち い せき さいじょうかみ いち まち
四日市遺跡（西条上市町）



写真2 調査区南半部分完掘状況（真上から）

市道吉行泉線道路改良工事に伴う四日市遺跡の発掘調査は、平成30年から始まり、既に5年目となりました（註1）。

今回の調査区からは、溝状遺構、土坑、埋甕・埋桶土坑、井戸跡、ピットなどを検出し、遺物も数多く出土しました。

調査区南側では、西国街道（近世山陽道）に伴う側溝と考えられる石組水路と、町屋を区画する石列を検出しました。特に石組水路は比較的残りが良く、もとの石の組み方等を確認することができました。

このほか、漆喰が貼られた土坑から、近代以降に一括廃棄されたと考えられる陶磁器、土師質土器などが大量に出土しました。多量の鍋・釜、焔炉や食物残渣（貝殻）をまとめて捨てた様子が伺えるため、「宿」や「食堂」の廃業に伴って捨てられたものかもしれません。

ところで、四日市遺跡が所在する「西条酒蔵通り地区」は、伝統的建造物群保存対策調査の成果（註2）によると、江戸時代の宿場町から近代の醸造町へと発展していった様子が良く残っていることが判明しました。

これまでの発掘調査においても、街道に面した間口側が狭く、奥行が細長い「短冊形」町屋の痕跡が良く残っていることが確認されています。

註1：以前の記事…東広島市出土文化財管理センター報『東ひろしまの遺跡 Vol.9』2020

註2：東広島市教育委員会『西条酒蔵通り地区の街並み－東広島市西条伝統的建造物群保存対策調査報告書－』2020

大規模集落跡「横田1号遺跡」の一部

よこ た いちごう い せき さいじょうちょう じ け
横田1号遺跡（西条町寺家）

個人住宅の建築に伴って発掘調査を実施しました。

横田1号遺跡は、平成22年度に大規模な発掘調査を実施しており、弥生時代後期前葉～終末期の大規模集落跡が確認されています。

特に、方形区画^{どくりつしきむなもちばしら}内の独立式棟持柱建物跡や青銅器^{ほそがたどうけん}（細形銅剣の一部）等を伴う大型竪穴住居跡の存在は注目されています。

今回の調査区は、発掘の対象となった面積が小さいため、上記のような目立った成果はありませんが、貯蔵穴を含む土坑4基とピット数基が検出され、弥生時代後期の土器が出土しています。

これらのことから、今回の調査区についても大規模集落「横田1号遺跡」の一部であることが分かりました。



写真3 遺構掘り下げ状況（南から）



図2 遺構配置図と今回の調査区の位置関係

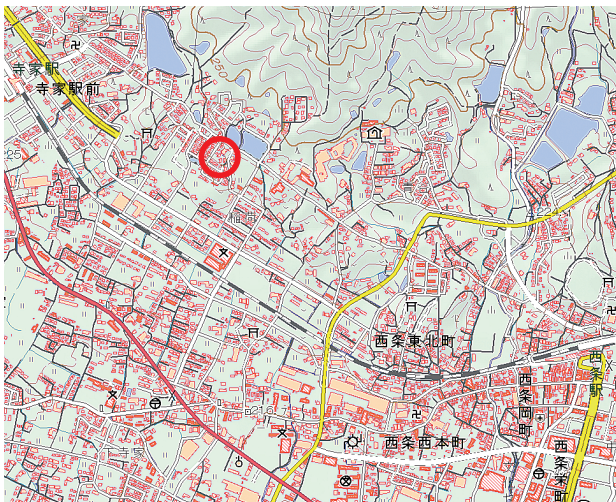


図1 横田1号遺跡位置図（1：25,000）

珍しい^{どうすい}導水遺構の考古学的調査

いし どう い せき はち ほん まつ ちょう し ょ う り き
石道遺跡（八本松町 正力）



写真4 暗渠溝の検出状況（南から）

石道遺跡は（仮称）八本松スマート IC の建設工事に伴い、令和4年11月から民間の組織が発掘調査を実施しています。遺構は導水用の暗渠溝^{あんきょみぞ}となっており、調査区内の天井と両側面は石を組んで作られ、上流側は素掘りのトンネルとなっていました。一瞬、古墳の横穴式石室と見間違ふほどの存在感があります。

調査に着手した時は、既に暗渠溝としての機能は失っていましたが、本来、何処から何処へ水を流していたのでしょうか？

『川上村史』を紐解くと、清滝川に設けられた“千度の掛けはずし”という堰から正力地区に灌漑用水を引く六郎丸溝の記載があり、見つかった暗渠溝はこの溝のそばに造られています。取水口は未確認ですが、暗渠溝は正力地区へ灌漑用水を流すための施設とみられます。



図3 石道遺跡位置図（1：25,000）

東広島市出土文化財管理センター報
東ひろしまの遺跡 Vol.12

発行日 2023（令和5）年2月8日
発行 東広島市出土文化財管理センター
〒739-2201 東広島市河内町中河内 651 番地 7
TEL:082-420-7890 FAX:082-437-0320
編集 東広島市教育委員会生涯学習部文化課
E-Mail hgh207890@city.higashihiroshima.lg.jp
印刷 一般財団法人東広島自立支援センターあゆみ

※センター報内の地図はすべて「電子地形図 25000（国土地理院）」を加工して作成しています。